

②さいたま市図書館の一年

1 ICTの推進

さいたま市図書館ビジョンの「地域の知の拠点」としての役割を果たすため、図書や視聴覚資料の整備充実を図るとともに、電子媒体による提供を進めました。電子書籍の整備では、3,000タイトルを追加購入するとともに地域資料6点をデジタル化しインターネットに公開しました。また、図書館ホームページでは、さいたまゆかりの児童文学者のページを新たに作成し、さいたま市固有の地域情報の充実にも努めました。さらに、自宅などからインターネットを通じ気軽に音楽を楽しめる、音楽配信サービスを開始しました。

来館されない市民への情報発信手段としては、図書館ホームページやメールマガジン、SNS（ツイッター）を利用し図書館利用の普及を行いました。ツイッターでは、各図書館のイベント情報やその日にちなんだ本の紹介「今日は何の日、なにを読む？」を随時発信し、年間合計で400回以上のツイートに対して、55万回の閲覧がありました。

2 子ども読書活動の推進

「さいたま市子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき、子どもが読書に親しめる環境づくりを進め、また「不読者」の割合を減らす取組を行いました。各図書館では、おはなし会等のイベントを積極的に実施し、「こわーいおはなし会」やビブリオバトルなど工夫を凝らした取組を進めました。また、冬休み期間中の読書推進を図るため、「冬の読書キャンペーン」としてイベントを集中して実施し、子どもたちが身近に本と触れ合える場の提供に努めました。特に、小・中学生への取組として、学級文庫用図書の貸出し、「さいたま・ライブラリー・サポーターズ（リブサポ）」の開催を拡充して実施しました。

市立高校生には、新入生への利用者カード訪問登録やおすすめ本の交換展示、4校によるPOPバトルを学校と連携して行い、読書離れの世代への読書普及活動にも努めました。

3 図書館施設リフレッシュ工事

平成28年3月に策定した「さいたま市図書館施設リフレッシュ計画」に基づき、老朽化対策をはじめ、バリアフリー化や省エネルギー化を図るための施設改修を実施し、長期的に安全・安心に利用できる施設整備を計画的に進めています。

平成30年度は与野南図書館、大宮東図書館の中規模修繕や、大宮西部図書館と南浦和図書館のエレベーター更新工事を行いました。

4 西浦和駅への図書館専用返却ポストの設置

さいたま市図書館を利用する方々の利便性の向上を図るため、平成30年10月に、JR西浦和市民の窓口敷地に「図書館専用返却ポスト」を設置しました。